

# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	成人式開催事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	090200 - 004	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	02 いきいきとした地域社会をつくる社会教育の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	成人(大人)としての権利と義務の意識と、地域づくりの担い手としての自覚を促す。大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます式典			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	成人式	新成人	1月12日開催。新成人対象者約1,000人。	新成人対象者1,042人内出席者830人(出席率79.7%)

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	785	808	727	813	
人件費	3,905	3,154	2,552	3,416	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,690	3,962	3,279	4,229	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	出席率	0.818	0.839	0.801	0.797	出席者数÷対象者数
02	対象者1人当たりコスト	4942円	3,888円	3,168円	4,058円	フルコスト÷対象者
03	出席者1人当たりコスト	6043円	4,633円	3,950円	5,095円	フルコスト÷出席者

# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

04	対象者数	949人	1,019人	1,035人	1,042人	対象者数は毎年変動する。
05	出席者	776人	855人	830人	830人	出席者は複数年で比較すると概ね横ばいとなっている。

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

地域づくりの担い手としての自覚を促すために消防防災課と連携し、消防団募集の催しを実施。成人者の小・中・高等学校時代の思い出ビデオを式典内で上映することで、成人(大人)したことを自覚させるとも、成人したことを祝いはげました。

### 問題点・課題等

成年年齢引き下げに伴う実施方法の検討

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

現状の式典内容で継続し開催していく。また、交流センターや他課との連携を強め、郷土愛の醸成や大人になったことへの自覚につながる内容を検討する必要がある。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了